

## 南小たば風通信 2019

令和元年10月10日 第20号

公開研究会の事後研究 **ありがとうございました。**

25日の公開研の事後研究、ありがとうございました。「たば風通信17号」で助言者や他校の先生方のご意見は載せておきました。南小の先生方の意見交流も無事に終え、公開研究会のまとめをすべて終えることができました。研究部へのご協力、どうもありがとうございました。

## &lt;2年生授業のまとめ&gt;

○授業者 三上先生から

- たくさんの子と伝え合えるとよかった。
- (実際の絵を見せていただきながら)それぞれに話を完成させることができた。
- たくさん話が作られたことから、力がついてきているし、文章を抵抗なく書けるようになってきた。

○授業者 飯高先生から

- Rくんにも魅力的な言語活動となっていた。

◎話し合いの報告から

- ゴールまでしっかりと計画できていた。
- 「書いたことを読み合わせる」という友達との交流場面の設定は、少し難しかったかもしれない。
- 「よさ」の押さえをどうするか。
- 教室設営のよさが、子どもの考え(よさ)を引き出していた。



## &lt;4年生授業のまとめ&gt;

○授業者 荒谷先生から

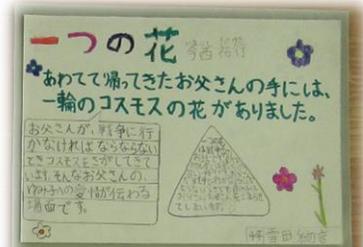
- 交流の仕方については、今後の機会に生かしていきたい。(この単元では修正する時間が取れなかったので)
- ポップづくりはよかった。
- 「お父さんがコスモスを一輪ゆみ子にあげる場面」を全員が選ぶ結果になった。しかし、理由が異なるのでよかったと思う。
- 書きたいと思える内容がポップに入れて書くことができていた。

○授業者 上野先生から

- ワークシートには他の友達の考えを書くことができていた。
- ポップは、自分の考えを中心に書くことができていてよかった。
- 対話の場面では、自分の考えを頑張って伝えていたと思う。

◎話し合いの報告から

- 対話(ペア交流)については、発達段階や「違いを見つけること」に重点を置いたのであればよかったと考える。
- 同じ活動を3回繰り返したことで、子どもに安心感があり、スムーズに展開することができていた。また、付け足して会話する場面も見られるようになった。
- 他の単元や他教科でも生かせそうな交流のさせ方だと感じた。
- メモに時間がかかるため、ワークシートは全員分を読める冊子のような形で持たせてもよかったのではないかな。
- ポップについては、出来栄の質を求めるのではなく、感想が入っていればOKである。



以上です。みなさんありがとうございました。